大会名称: **令和元年度**
第49回関東中学校バスケットボール大会

開催場所: **深谷ビッグタートル　FCコート**

試合区分: **No. 120 男子　　2回戦**　　コミッショナー: **小林 喜弘　川村 知生**

期　　日: **2019年8月7日（水）**　　主審: **加藤 暁生**

開始時間: **16:10**　　副審: **小澤　朋克　中島　弘幸**

終了時間: **17:50**

東海菅生（東京）	○ 81	25 -1st- 12 19 -2nd- 12 13 -3rd- 11 24 -4th- 2 -OT1- -OT2- -OT3-	● 37	大庭（神奈川）

NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	＊	大柳 亮太	21	1	6	6	2	4	＊	田中 優翔	32	5	7	3	3
5	＊	髙橋 昂汰	12	0	6	0	2	5	＊	青木 飛龍	0	0	0	0	2
6		小関 哉太	0	0	0	0	0	6		平岸 祐輝	3	1	0	0	2
7		原 湧光斗	0	0	0	0	0	7		関 隼磨	0	0	0	0	0
8	＊	日笠　知哉	16	2	5	0	1	8	＊	吉野 幸隼	0	0	0	0	3
9		井上 樹莉	−	−	−	−	−	9	＊	坂本 輝翠	0	0	0	0	0
10	＊	川俣 雄大	14	0	7	0	2	10		市原 未来翔	0	0	0	0	0
11		小野 司	2	0	1	0	0	11		村上 颯馬	0	0	0	0	0
12		坂本 青葉	−	−	−	−	−	12		白戸 響己	−	−	−	−	−
13		阪井 翔	−	−	−	−	−	13		大坪 春陽	−	−	−	−	−
14		金子 新	−	−	−	−	−	14		江藤 滉起	−	−	−	−	−
15		中村 日那汰	0	0	0	0	0	15		石橋 央雅	0	0	0	0	1
16		阿部 晴太	−	−	−	−	−	16		亀川 春希	−	−	−	−	−
17		北澤 爽	2	0	1	0	1	17	＊	亀川 大希	2	0	1	0	3
18	＊	竹内 龍ノ介	14	0	7	0	2	18		芝山 和哉	−	−	−	−	−
コーチ		小山 正男					0	コーチ		山城 貴志					0
		合計	81	3	33	6	10			合計	37	6	8	3	14

S: スターター　PTS: ポイント　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー　F: ファール

関東大会2日目、東京都代表東海菅生と神奈川県代表大庭の一戦。第1P、両者ともにハーフコートDefで始まる。東海菅生は、＃10川俣のジャンプシュートで先制。その後、＃5髙橋、＃8日笠、＃18竹内と一気に引き離していく。大庭も負けじと＃4田中の連続3Pと2Pで得点を重ねていくが、25－12で第1P終了。

第2P、大庭の＃4田中が2Pと3Pで外角から攻めて得点を重ねていくが、なかなか縮まらない。東海菅生は、＃8日笠のドライブ、＃18竹内のゴール下のシュートで得点を伸ばしていく。高さで勝る東海菅生は、ゴール下を支配して優位に試合を進める。さらに、＃4大柳、＃5髙橋のDefが粘り強く相手を苦しめる。44－24で第2P終了。

第3P、東海菅生は、＃4大柳の2Pで始まり、＃18竹内、＃5髙橋と得点を重ね、＃4大柳の3Pで更に点差を広げる。チェックの早いDefで大庭の3Pシュートを阻止しようと粘る。大庭は、＃4田中の2Pと3Pで縮めようとするが、リズムに乗ることができず、57－35で第3P終了。

第4P、大庭は＃4田中、＃8吉野が逆転を狙って果敢に3Pを打っていくが、得点に結びつくことができない。東海菅生は、＃4大柳、＃8日笠のドライブで得点を重ねる。大庭も最後まで粘るが、前半の点差が最後まで響いた。東海菅生が勝利し、全国の切符を勝ち取った。両チームともそれぞれの持ち味を出し切った好ゲームであった。